

独立行政法人日本貿易振興機構
2020年度 第2回契約監視委員会 議事録

1. 日時：2020年12月11日（金）10:00～11:30
2. 場所：日本貿易振興機構10階役員会議室
3. 出席者：中村信男委員長、尾花眞理子委員、出口眞也委員、中里委員、岩城委員
4. 議事：
 - (1) 調達等合理化計画について（状況報告）
 - (2) 2020年度における一者応札・応募であった案件の事後点検
 - (3) 2020年度における競争性のない随意契約に係る点検
 - (4) その他
5. 議事概要：
 - (1) 調達等合理化計画について（状況報告）

事務局より令和2年4月から9月までの速報値および調達等合理化計画の進捗状況について報告。
<委員からの主なコメント等>

 - 分析において、コロナウイルス感染拡大による影響、調達金額の変動と割合（%）の関連について、理解しやすいように追加で補足説明があっても良かもしれない。
 - (2) 2020年度における一者応札・応募であった案件の事後点検
事務局より2020年4月から9月までに実施した一者応札・応募の案件につき説明。
<委員からの主なコメント等>
 - 同種の案件について公募期間の重複を避けられるよう検討すること。
 - 同一部署による同種案件の仕様書について書式を統一することで応札を容易にすると考えられるため検討すること。
 - 新規企業の参加が容易となるよう過去の業務実績に関する評価項目の記載方法を工夫し、点数配分も従前業者が優位とならないよう検討すること。
 - 説明会参加業者、入札業者についてモニタリングを行うことを検討すること。
 - 予定価格作成にあたっての参考見積が適切であるか検証を行うことを検討すること。
 - 引き続き、調達見通しについて事業計画に基づき出来るだけ早く掲載し広く応札者を募るよう努力すること。
 - 落札から契約開始までの準備期間をより長く確保することで応札業者の増加が期待できると考えられるため検討すること。
 - 仕様書にマニュアルの作成が含まれている場合、既存マニュアルを引き継いで作成するものであれば、その旨を具体的に記載するよう検討すること。
 - 現地説明会など仕様の内容を確実に確認できる機会を設けるよう検討すること。

- 大規模な管理業務の細分化にむけてコンサルの実施を検討しても良いのではないかと考える。
- 評価項目内容は詳細に記載するよう検討すること。

(3) 2020 年度における競争性のない随意契約に係る点検

事務局より 2020 年 4 月から 9 月までに実施した競争性のない随意契約の案件につき説明。

<委員からの主なコメント等>

- 契約相手先として選択した合理的根拠を示せるようにしておくべき。

(4) その他

- 競争性のある契約のうち二者以上応札案件や海外契約は審議対象外であるが、マニュアルの充実、赴任前研修を引き続き実施し、適切な調達実施に努めること。

以 上